



羽村市立富士見小学校

校長 市川 晃司

令和8年2月26日 第11号

TEL: 042 (554) 6449

FAX: 042 (578) 1522

成長を喜び合い、未来へ

三寒四温と言われるように、暖かい日と寒い日が交互に訪れる季節になりました。羽村市内では今月、インフルエンザによる学級閉鎖を行った学校が複数あります。報道によると、2月は東京都内におけるインフルエンザが11月に続いて2回目の流行期だったとのこと。3月も油断せず、引き続き手洗い・うがいの励行に努めます。

先週末から授業参観・保護者会を実施したところ、多数の方に御来校いただきました。心から御礼申し上げます。一年間の成長を共に喜び合う時間になったと各学級担任から報告を受けました。

さて、令和8年2月10日(火)にたてわり班遊びがありました。たてわり班遊びは、1年生から6年生までの児童が班を編成し、年間10回実施しています。以前、お伝えしたように、今年度から2年間、本校は特別活動の研究を行っており、たてわり班遊びは「異年齢集団による交流活動」の一つでもあります。毎回、各学年が輪番で企画と当日の進行を行うことになっていて、今回は6年生が担当でした。各教室では、6年生が堂々と進行を務める姿がありました。そして、下級生の様子を細やかに把握し、やさしく声をかけたり分かりやすく説明したりする姿が見られました。遊びの内容にも改善が見られました。誰もが楽しめる遊び、誰も取り残さないルールを決めて、どの教室も大いに盛り上がっていました。年度初めに進行を務めた6年生とは明らかに異なる姿がありました。終了後には、下級生や担当の教員から感謝の言葉をもらっていました。6年生が教室に戻ると、学級担任からも成長した姿に対するねぎらいの言葉が聞かれ、みんなで成長を喜び合う様子が見られました。

右の写真は、本校の養護教諭が卒業する6年生に「サプライズ」で贈る「卒業おめでとうカード」です。A4の色画用紙が三つ折りになっており、開くと6年間の身長と体重が折れ線グラフで示されています。そして、三つ折りをかわいらしく閉じているネイビー色のリボンの長さが、6年間で伸びた身長の高さと同じになっています。養護教諭が一人一人の伸びた長さをメジャーで測り、心を込めて結んでいると聞きました。養護教諭の思い、もらったときの6年生の驚き、そして我が子の成長に感動する保護者の方の姿を想像したとき、私の中にも大きな感動が生じ、紹介をさせていただきました。ぜひ、成長を共に喜び合い、児童が中学校進学に向けて前向きな気持ちになるように背中を押していただけたらうれしいです。

(「サプライズ」にならず申し訳ありません。)



「一月往ぬる二月逃げる三月去る」とはよく言ったものです。あっという間に今年度の登校日数があと18日(1~4年生は17日)になりました。児童が一年間を振り返り、4月からの新しいステージに前向きに進めるよう指導・支援をしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、一年間、本校の教育活動に御理解・御協力いただき、ありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。